

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [大牟田市立大牟田中央小学校] 担当教諭名 [前嶋春菜・末永優子・古閑友来子・棚町仁志] (6年1・2組・ひまわり 64名)
 相手国・地域 [ペルー]
 海外学校名 [Colegio La Unión] 担当教諭名 [Cesar Garrascal]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単 元 名	時間数
		総合的な学習の時間	考えよう!! 私たちの未来 平和な未来

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	共につくる 未来の平和
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	世界中の国々が、過去の過ちから争うことの愚かさ、平和の尊さなどを学び、共に手を携えて平和な社会をつくらう！互いを思いやれるパートナーシップを築いていきたい。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・スカイプによるテレビ会議を行い、異国の子ども達と直接交流を図れたことで、相手意識や学習意欲が非常に高まった。 ・自分のことや学校のこと、文化等を交流したことで、相互理解が深まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時差のため、複数回のテレビ会議の設定は難しい。 ・日本とペルー側の児童の人数差が大きく、学習の広げ方・深め方、作業分担など苦慮した。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・あまり知らなかったペルーなどの異国に対して、丁寧に紹介してもらい、興味を持って自ら調べる姿につながった。 ・世界の人々のつくる(考える)平和について、是非実現したいと強く願うようになった。 ・共に作業したことで、心の距離も縮まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手意識の中に、生活背景なども含めて理解する必要があるという観点を持たた。 ・子ども達が学んだこと・伝えたいことを壁画作成という共通目的に向かうという、子どもの意欲を喚起・発見できた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	7月 9月	・自己紹介のフリップ作り ・学校紹介ムービー作成	・ペルーって、どんな国だろう。 ・日本語がわかるそうだけど、ゆっくり発音しよう。しっかり伝えたいな。	総合 2
共有 テーマ学習	9月 ～ 11月	・ラ・ウニオン校とのテレビ会議 ・塩飽さんによる出前授業 ・平和学習(夏休み, 修学旅行)	・テレビ会議ってすごいな。こっちは朝なのにペルーは夜だ。 ・壁画には、いろんなメッセージが込められているんだ。 ・戦争の事実がよくわかったぞ。平和であることは、尊いことなんだ。	総合 4
融合 メッセージ作成	11月	・メッセージの検討, 交流 ・壁画のデザイン検討 ・壁画下描き	・「平和な未来」を共につくりたい。 ・戦争があった過去。平和な現在。共に創る平和な未来。の3つを描こう。	総合 4
創造 壁画制作	11月 ～ 1月	・壁画の彩色, 完成, 発送 ・日本の文化調べ, 紹介	・丁寧に塗って仕上げよう。 ・残り半分が、どのような絵になるか楽しみ。わくわくするな。 ・年末, 年始いろんな行事を紹介したい。	総合 8
評価 振り返り 自己評価	2月	・作品到着の報告, 開封, 紹介 (新聞社取材) ・保護者, 地域の方へ披露 (学習発表会)	・素敵な作品が届いた！ ・平和を実現するためのメッセージと一緒に表現できてよかった。 ・壁画をいろんな人に見てほしい。	総合 2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてついていた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	5	原爆, 大牟田の空襲等の戦争の歴史背景を自ら学び取ることができた。また, テレビ会議やフォーラムでの交流を通して, 改めてよさを見つめなおすことができた。
異文化を理解する力	4	ペルーの友達と直接交流することで, スペイン語などの言語や生活習慣などの文化に興味を持ち, 理解できた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	映像を使って, 日本の学校生活を紹介した。内容は, 施設や1日の流れ, 学校のマスコット(中央スターなど)。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	3	スペイン語や日本語であいさつをし, 相手に伝えたい, 相手を理解したいと思い, コミュニケーションを図った。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	異国の友達のことを理解しようと努め, 受容的な態度の方が多く見られた。
主体的に考え行動する力	4	言葉の壁, 文化の違いなどを個性として受け入れ, 積極的に関わりたい(情報発信したい)などの思いを持ち, 調べ学習など行動化した。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	共有するテーマや壁画に表す際の構図等, グループで話し合い建設的な意見が言えた。また, 作業の役割分担後は, 協力して取り組んだ。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	メッセージ・壁画共に, まずは自分たちの思いを折り合いをつけてまとめ, 次に発信し共有することを考慮して, できる限り分かりやすく伝えるように工夫を重ねながら, 取り組むことができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	5	壁画の到着後, 学習発表会の会場に飾り, 児童や保護者と共に鑑賞し, 一連の活動を振り返り, 自己や集団の成長を感じることができた。